

# 西条市まちづくり検討会 開催報告書

令和5年10月

# 目次

<b>1 開催概要</b>	..... 3
概要・開催日時等 / 実施手法 / 当日スケジュール	
<b>2 ワークショップ参加者意見</b>	..... 7
第1回 まちの魅力と課題について	
第2回 10年後どんなまちにしていきたいか	
第3回 10年後に望むまちの姿を実現するために取り組むこと	
<b>3 参加者の感想</b>	..... 20
<b>4 ワークショップの様子</b>	..... 22

# 1 開催概要

# 1-1 概要・開催日時等

## 開催目的

市のあらゆる事業の根幹である総合計画を策定するために、市民アンケート調査結果や市の現状を示すデータ等を参考に、市全体のまちづくりの在り方を議論し、市民と行政との協働で総合計画の策定に取り組むことを目的として実施しました。

項目	第1回	第2回	第3回
開催日時	令和5年8月26日(土) 13時30分～15時30分	令和5年9月3日(日) 13時30分～15時30分	令和5年9月24日(日) 13時30分～15時30分
場所	西条市地域創生センター	西条市地域創生センター	西条市役所
対象者	市内各種団体から推薦された方、市若手職員		
参加者数	52名	52名	45名
テーマ	「LOVE SAIJOなところ、 見つけよう！」 ～まちの魅力と課題について 話し合う～	「10年後の西条 について語ろう！」 ～どんなまちにしていきたいか 考える～	「まちの将来のために できることを考えよう！」 ～これから取り組むことを 話し合う～

# 1-2 実施手法

## ワークショップ形式

分野ごとにグループを作り、グループ内でディスカッションを行いました。ワークショップ形式は、参加者がグループ内で知識や考えを共有することで様々な意見の創出が期待される手法です。

①

分野ごとのグループ  
に分かれる



### Point

- ・ 普段接点のない参加者と話し合える
- ・ 同じ分野の参加者と横のつながりができる

②

思いつくアイデアを  
自由に書き出す

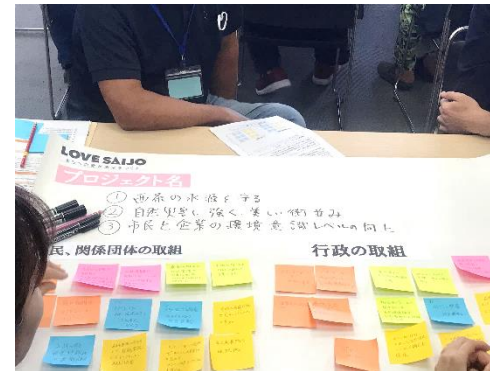


### Point

- ・ 会話をしながら、思いつく意見をどんどん書いていく
- ・ 出された意見に対して、グループで話し合いをしながら、追加意見を出していく

③

グループで意見交換  
しながら内容を整理



### Point

- ・ ふせんに書かれた意見で似た意見をグループ分けして、全体を整理する
- ・ 出された意見に対して、グループで意見交換を行い、さらに理解を深める

④

全体で発表



### Point

- ・ グループごとに発表を行い、それぞれのグループで出された意見を共有する
- ・ 違う分野のアイデアを知ることによって、違う視点に気付く

## 1-3 当日スケジュール（各回共通）

### タイムスケジュール

項目	時間	内容
1 開会・挨拶	2分	開会、主催者挨拶
2 趣旨説明	5分	ワークショップの趣旨説明
3 資料説明	15分	市民アンケート調査結果の内容や基礎分析等を踏まえた説明
4 ワークショップの進め方	2分	進行について説明
5 グループワーク	40分	テーマに沿って進行
休憩	10分	
6 全体発表	40分	1グループ4分程度で発表
7 まとめ	5分	全体まとめ、アンケート記入
8 挨拶、開会	1分	主催者挨拶、閉会

## 2 ワークショップ参加者意見

## 2-1 第1回まちづくり検討会(R5.8.26) 参加者意見

### テーマ：まちの魅力と課題について

#### 西条市の魅力

- 海・山・川・うちぬきなどの自然資源が豊富。
- 地産地消により新鮮な食材が手に入る。
- 気候・市民の人柄の穏やかさがまちの住みよさにつながっている。
- 災害が比較的少なく、地理的環境も穏やかで住みやすい。
- 祭りを通して、人がつながり地域がつながり、コミュニティが形成されてきた地域特性がある。
- 移住者に人気のまち。
- 道路整備が進んでおり、幹線道路が通っていて利便性が高いため、市内で幅広い生活スタイルが維持できる。
- 教育のICT化が進み、電子黒板やタブレット端末普及など、教育環境が整っている。

#### 西条市の課題

- 救急体制が現状の医療整備状況では維持できていない。
- 少子高齢化で税収が減少することで、働く世代への負担が大きくなる。
- 南海トラフ地震で浸水想定箇所が多いため、今後の災害対策が必要。
- 若者世代向けの大型商業施設がなく、人が集まりにくい。
- 人口流出の一要因でもある大学等、高等教育機関が少ない。
- 車社会であるがゆえに高齢者が免許返納をしにくく、老年期の移動が不便である。
- 子どもが遊ぶ場所が少なく、土地も荒れているため、子どもが安全に遊べる場所の確保が必要。
- 観光地、名産品、宿泊施設が少なく、もっている魅力を活かせていない。



## 2-2 第2回まちづくり検討会(R5.9.3) 参加者意見

テーマ：10年後どんなまちにしていきたいか

### 保健・福祉・医療

- 福祉サービスが行き届くまち
- 貧困・いじめ・差別・虐待の相談体制が充実したまち
- 福祉人材が豊富なまち

- ・ 従事者の高齢化が進んでいるため、若年層のキャリアアップに力をいれたい。
- ・ 介護事業所の組織化・統合化も念頭に入れ、今後の高齢化に備えたい。
- ・ もう一子を産める（産みたい）と思える環境づくりが必要。
- ・ 高齢者や障がい者など、障がいの有無や年代を越えた社会参加を促し、貧困・いじめ・差別・虐待の相談体制を構築する必要がある。
- ・ 体が不自由になったり病気になったりしても、安心して暮らせるようなサービスが行き届くまちにしていきたい。

### 自然・環境

- ゼロエミッションを目指した循環型社会が実現したまち
- 環境公害の少ないまち
- 自然災害に強く、環境美化が進んだまち
- 放置人工林が解消（防災・減災）されたまち

- ・ 自然を生かし、産業も発展する共生のまちをめざしてほしい。
- ・ 環境意識の進んだまちにしたい。
- ・ 消費者が社会的課題を意識し、そうした課題解決に取り組む事業者を応援しながら消費活動（エシカル消費）を行うまちにしたい。
- ・ 市の資源である森林から、仕事（産業）が生まれ雇用が生まれるまちにしていきたい。
- ・ 水産資源の陸上養殖を実現させてほしい。
- ・ 既存の市民と移住者も巻き込んで若者が住みたいまちをつくってほしい。

## 2-2 第2回まちづくり検討会(R5.9.3) 参加者意見

テーマ：10年後どんなまちにしていきたいか

### 都市基盤

- 都市機能が集約したまち
- 交通インフラ整備による渋滞の緩和されたまち
- 高齢者が車を持たなくても生活できるまち
- 空き家・空き地が有効活用されるまち

- 都市計画における用途地域等の見直しにより乱開発を防止し、住みよいまちを維持してほしい。
- コンパクトシティの実現により、整えるべきインフラの範囲を小さくし、買い物や病院などの都市機能を集約し、市民の利便性の向上を図ってほしい。
- 現在、車に乗れない高齢者が買い物や病院等に行きにくい状況であるため、デマンドタクシーの利便性向上及び営業範囲拡大を図ってほしい。
- 空き家、空き地が増えている中、地域コミュニティの場などへの活用を検討する。

### 防災・安全安心

- 民間施設と提携した防災のまちづくり
- 震災対策が整ったまちづくり

- 校区ごとに自発的な特色のある防災訓練の実施をすることで、緊急時にも防災体制が整備されているまちにしたい。
- 消防団員の若手のなり手が減少傾向であるため、消防団員募集の広報・周知を図る必要がある。
- 市全体及び校区単位で郷土愛に満ちたコミュニティ形成を図っていく必要がある。
- 総合病院と避難場所の協定に向けて動いている地区もあるため、民間施設や歴史文化施設の有効活用も視野に入れた防災体制を築く必要がある。
- 休日や夜間時の救急受入体制の強化を図り、医療体制の充実を図ってほしい。

## 2-2 第2回まちづくり検討会(R5.9.3) 参加者意見

テーマ：10年後どんなまちにしていきたいか

### 教育・文化

- 老朽化した教育施設の整備が進むまち
- 伝統行事の継続・継承が進む品格あるまち
- コミュニティスクールの進むまち

- 老朽化した教育施設が点在しているため、市の財産として整備を進めてほしい。
- 教育・文化振興は地域の品格向上に繋がる。市内では歴史分野への関心が薄いですが、今後も各分野で振興に努め、将来世代へつないでいきたい。
- お遍路の世界遺産登録により、郷土愛の向上や観光資源化で西条が世界に誇るまちになるよう取組を進めてほしい。
- 地域ぐるみで子どもを守り育てるために、地域行事や教育支援、見守り活動、児童クラブ施設の充実化を図っていくことが求められる。

### 産業振興

- 若い人のチャレンジを応援できるまち
- 観光産業に従事したい人が活躍できるまち
- 農業・漁業・林業の豊かさを実感できるまち
- 行政、観光、宿泊、飲食、商店が一丸となったまち

- 人手不足が深刻であり、DX化や人材確保のための助成金、工業地帯の維持発展に寄与する取組を進めてほしい。
- 働く場への個々人のニーズをくみ取り、人材のミスマッチを解消する取組を進めてほしい。
- 生活者とのつながりを大切に、食育活動を通じて地元産の農作物や水産物の良さを知ってもらうことで、市の豊かさへつなげていきたい。
- 行政、観光、宿泊、飲食、商店が一丸となって、歩調を合わせて取り組む必要がある。
- ふるさと教育に力を入れ、学校を巻き込んだ産業支援を進めてほしい。

## 2-2 第2回まちづくり検討会(R5.9.3) 参加者意見

テーマ：10年後どんなまちにしていきたいか

### 地域・行政

- 100年後を見据え、無理せず計画的なまち
- 子供たちが輝けるまち
- さわやかな朝を迎えられるまち
- 多様性を受け入れられるまち

- 行政だけに頼らず、各地域の課題を各地域で解決するための自主的な運営が行き届く市にしたい。
- 外貨を稼ぐばかりではなく、市内の経済循環の強化に目をむけ、自給率向上にむけた取組を進めてほしい。
- 市内への大型商業施設誘致や市中心部へ大型遊具のある公園をつくり、いきいきと子どもを産み育てることができる市にしてほしい。
- 外国人の就学支援に柔軟性がなく、十分に支援が行き届いていない状況を改善して、世代や立場を越えて多様性を受け入れる市にしてほしい。



## 2-3 第3回まちづくり検討会(R5.9.24) 参加者意見

テーマ：10年後に望むまちの姿を実現するために取り組むこと

保健・福祉・医療

プロジェクト名： 持続可能な保健・医療・福祉サービスづくり

具体的に取り組む内容

市民・関係団体ができること

行政ができること

人材確保・労働人口増加

- 事業所による職員間の引継ぎ期間の確保、人材継承

- 学生への働きかけ、若年層への啓発、奨学金制度によるUターン就職促進
- 行政主体による外国人技能実習生等の普及、制度的な支援

官民の協働、業界全体の連携…「まちは〇〇」

- 各団体や機関からの情報発信、相互の情報共有
- 障がい者、高齢者、児童などの区別なく交流できる場所の提供

- 他分野にわたる対応が可能な窓口や担当部署の設置
- 縦割り行政の組織体制の見直し

情報共有、業務効率化

- 各分野において情報共有ができるグループ作り
- 各組織におけるマニュアルや内規の整備、情報共有制度

- 情報共有のための統一プラットフォーム整備
- 各組織における情報共有制度

## 2-3 第3回まちづくり検討会(R5.9.24) 参加者意見

テーマ：10年後に望むまちの姿を実現するために取り組むこと

### 自然・環境

プロジェクト名： N (atural) & A (rtificial) プロジェクト

#### 具体的に取り組む内容

#### 市民・関係団体ができること

#### 行政ができること

##### 西条の水源を守る

- うちぬきの保全、市産材を活用した商品作り
- 自身の土地の把握、相続登記等

- 水質保全キャンペーンの注意喚起、水源保全担当課の新設、地下水に関する情報発信
- 森林環境譲与税を活用した森林整備推進

##### 自然災害に強く、美しい街並み

- 庭や植物の好きな人のネットワーク構築
- 山林の保全（放置人工林等の整備活動）

- 他分野にわたる対応が可能な窓口や担当部署の設置
- 河床整備などの河川整備

##### 市民と企業の環境意識レベルの向上

- 食品廃棄物の堆肥化、ゴミの減量やリサイクル意識の向上、地域清掃活動や美化活動への参加
- 生物多様性に対する取組の定着

- 地下水に対する知識・学びの場の提供、環境学習会の提供
- ゴミの減量やリサイクルの取組を積極的に行う販売店の公表とチェックする仕組みづくり

## 2-3 第3回まちづくり検討会(R5.9.24) 参加者意見

テーマ：10年後に望むまちの姿を実現するために取り組むこと

### 都市基盤

プロジェクト名：コンパクトシティの実現と拠点内の充実

具体的に取り組む内容

市民・関係団体ができること

行政ができること

拠点となる場所への  
都市機能と居住地の誘導

- にぎわい創出
- 行政ルールの順守、各関連団体の連携・周知

- 都市計画の見直し、ルール作り
- 病院や小売店舗等の誘致

交通インフラの効率化

- 鉄道、バス等の近代化

- ルール作り

空き家、空き地の  
有効活用

- 空き家となった土地建物の処分
- 各関連団体の連携

- 空き家となった土地建物の行政処分

## 2-3 第3回まちづくり検討会(R5.9.24) 参加者意見

テーマ：10年後に望むまちの姿を実現するために取り組むこと

### 防災・安全安心

プロジェクト名： 若者がけん引する防災のまち「SAIJO」

#### 具体的に取り組む内容

#### 市民・関係団体ができること

#### 行政ができること

##### 防災意識の向上と 地域のつながり強化

- 小中高での防災訓練、中高生の防災士の育成、親子参加型の防災教室の開催、防災マップ作成
- 消防・警察との交流機会の増加

- 高校生防災士から中学生への対象拡大
- 防災カリキュラムの増加

##### 自主防災組織や防災士 を起点とした移住促進

- 自主防災組織や、各地域の団体等での防災訓練の実施

- 消防団への高校生勧誘（必要あれば条例改正）

##### 防災の中核拠点施設を 中心にした安全・安心 のまち

- 消防団協力事業所を拡充し、事業所敷地の避難場所としての活用や津波避難ビルとしての協定締結促進

- 広報（防災の大切さ、公助の難しさ）
- 人の集まる防災拠点づくり



## 2-3 第3回まちづくり検討会(R5.9.24) 参加者意見

テーマ：10年後に望むまちの姿を実現するために取り組むこと

### 教育・文化

プロジェクト名： よりつながるまち ～人・学校・地域・文化～

#### 具体的に取り組む内容

#### 市民・関係団体ができること

#### 行政ができること

##### コミュニティスクール

- 学校運営への積極的な参加、地域人材の提供と活用、学校との連携や情報共有
- あいさつ運動や地域行事に参加し、顔が見える関係づくりを行う

- 学校と公民館の連携強化による、地元の活動の活性化
- 地域のデジタル化（ICT利用施設、Free Wi-Fiの拡充等）

##### 教育施設の整備

- 教育施設の集約・複合化への理解
- ワークショップ等を開催し、行政とともに参画

- 研究、調査による教育施設の集約・複合化計画の策定及び実行
- 他市の事例等を研究し、教育施設の整備・統廃合を計画

##### 伝統・文化の継続と継承

- 関係団体の統廃合、スリム化
- 情報発信(PR力)を強化し、伝統文化を継承していく

- 伝統文化の継続等に必要の人と資金補助、地元出身の文化・芸術人への支援
- 文化施設の利用負担軽減、伝統文化や史跡等の整備・魅力発信

## 2-3 第3回まちづくり検討会(R5.9.24) 参加者意見

テーマ：10年後に望むまちの姿を実現するために取り組むこと

### 産業振興

プロジェクト名： 交流都市saijo

#### 具体的に取り組む内容

#### 市民・関係団体ができること

#### 行政ができること

##### 交流人口を増やす

- 農家、林家、漁家による情報発信、各地区の強みを活かしたテーマ別の体験ツアーを企画
- 既存観光地と新しい体験型がコラボした、『ルート化』『テーマ化』した観光化を実施

- 市の産業の強みである農業、工業などに特化した専門学校の誘致や学科増設
- 外国人労働者の宿舍や学校を設置することで、市内事業者が雇用できる環境の整備

##### 異業種交流を通じた新しい価値を創造する

- 持続可能な異業種交流の仕組みを作る、市民、関係団体が当事者意識を持つ
- 農業や水産業など、市の”食”の強みを活かした料理店・産直市をPR

- 観光プロモーションの窓口を一本化、シティープロモーションの強化
- 近隣市町と連携交流し、メリハリのついた他にない特化した運営の実施

##### ハード面（施設・交通）の整備

- 取組の告知・PR

- 観光のルート化、テーマ化を考え、その導線を意識しながらハード面の整備
- 新幹線誘致

## 2-3 第3回まちづくり検討会(R5.9.24) 参加者意見

テーマ：10年後に望むまちの姿を実現するために取り組むこと

### 地域・行政

プロジェクト名： 人が集まる“オンリーワン”プロジェクト

#### 具体的に取り組む内容

#### 市民・関係団体ができること

#### 行政ができること

人が集まる  
イベントをつくる

- 自然を生かした市体験学習の実施
- 積極的にイベントに参加する

- 市民団体主催のイベントの応援（後援や、周知、補助金など）

人が集まる  
学び場をつくる

- オンリーワンな学校（授業、部活など）を作る、海外・帰国子女向けの日本語教室の充実
- ボランティア活動の活性化、自然保護の勉強会

- 他分野にわたる対応が可能な窓口や担当部署の設置
- 河床整備などの河川整備

人が集まる（集まれる）  
交通をつくる

- スマートフォン一つでバスに乗れる仕組みを作る
- 外国人向け交通教室の実施

- 自動運転バスの稼働、乗り合いタクシーの範囲拡大、DXによる誰もが利用しやすい交通整備
- DX推進のためのネットインフラの整備やIT機器（スマホ）の貸与や操作方法の教室の実施

# 3 参加者の感想

### 3 参加者の感想

本日のワークショップについてあなたの感想をご自由にお書きください（抜粋）

（原文ママ）

#### ワークショップに関する意見

- さまざまな立場の人と意見交換をすることができ、刺激になりました。さまざまな立場の人と意見交換をする重要性を、改めて感じました。
- ひとつのプロジェクトを提案するために意見をまとめるのが、難しかった。
- 異業種、異団体とのそれぞれの意見が聞けてよかった。まずもって、人との縁ができたことが、最大の成果。
- 最初のプロジェクト内容の検討が難しかった。この部分をスムーズに進めるためのアドバイスやファシリテーションがあると助かる。
- 課題が難しく、最初は意見ができなかったが、楽しく皆さまとコミュニケーションが取れて、楽しい会になった。初めての経験でしたので、よかった。

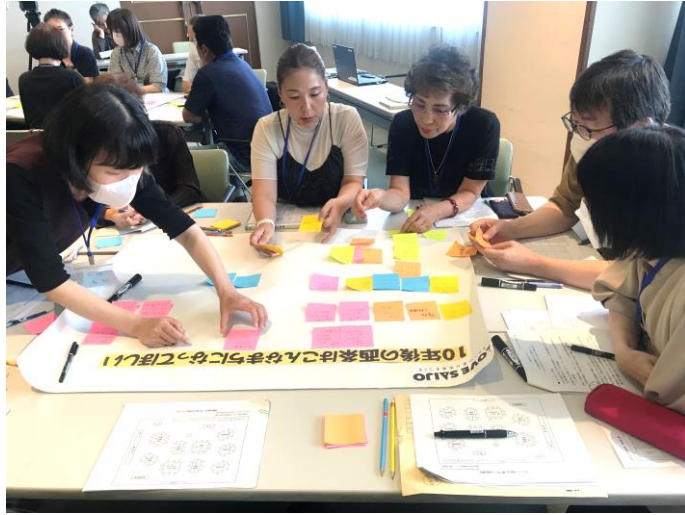
#### まちづくりに関する意見

- 会に参加させていただき、西条を愛し西条のために何ができるか、本気で考えている方々が多いことに感動した。西条市民として誇りを持ち、積極的に活動していきたいと強く感じた。
- 夢がもてるまちになるように、微力ながら頑張っていきたい。
- 10万人程度の都市なので、やはり官民連携が重要となるが、資源に恵まれ地域の特色が異なることを活かし、民同士がよりつながりその知見を最大限発揮することができると思う。
- さまざまな業種の方が、いろいろな取り組みをしていると知った。西条市の取り組みにも参加していきたい。
- 皆さん、さまざまな意見があり、心強かった。実行に移すよう行動しなければならない。

# 4 ワークショップの様子

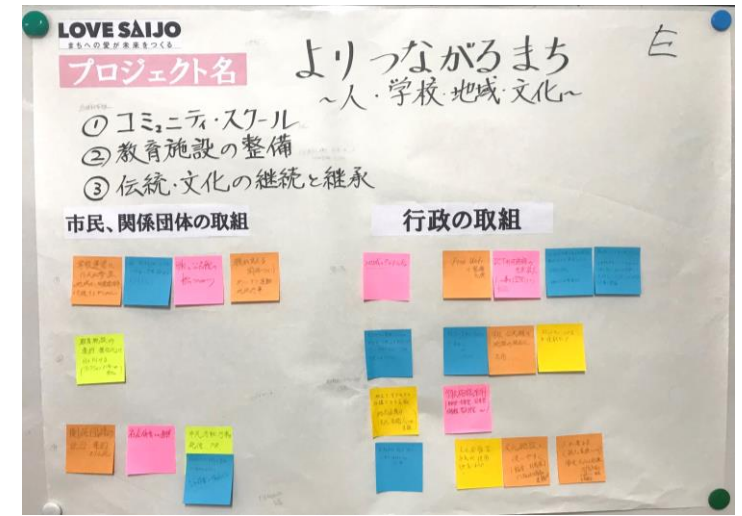
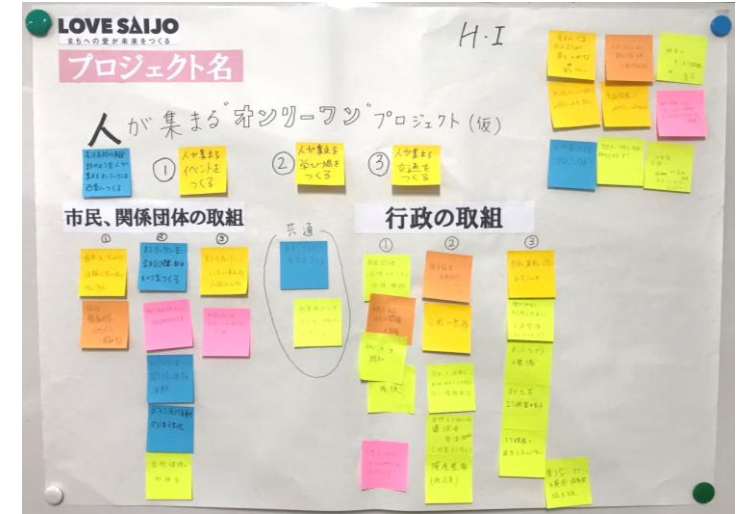
# 4 ワークショップの様子

## グループワークの様子



# 4 ワークショップの様子

## 発表の様子





## 4 ワークショップの様子

### 集合写真

